

関係各位

令和6年度 学校評価に係る学校関係者による評価について

大田区立糀谷小学校
校長 田村 諭

大田区における学校評価は、教職員が行う自己評価と保護者、地域住民等により構成された学校関係者評価の実施によって進めています。
自己評価は、おおた教育ビジョンに基づき、取組指標や成果指標を設定し、その評価を実施します。また、学校関係者評価は、地域連絡協議会が行い、学校教育活動の観察・意見交換及び、自己評価の結果の妥当性を評価していただくことで、学校と地域の連携・協力を図ります。これらの学校評価の結果を次年度の学校経営改善に生かし、マネジメントサイクル（PDCA）を確立します。
つきましては、下記の通り、学校関係者に評価についてご協力賜りますようお願いいたします。

記

項目	目標	目標に対する成果指標	成果評価	学校関係者記入欄		
				評価	コメント	
生的予個 きに測別 る困目 力難標 をな1 育成未 します来 社会社 を会を 創造創 造造	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	児童アンケート 「学習の内容が分かるようになってきている」の5年生、6年生の肯定的な回答の割合	2	教科専門の先生で「大いに学びが増えた」、「学びが増えた」と回答した児童は、5年生で79.4%、6年生で71.7%となった。4月の初めは、それぞれの学年において44.1%、50.5%と教科担任制の指導で「分かる」に対して懐疑的な児童であったが、大きく伸びたことは大きい。成果評価としては低い結果ではあったが、教科担任制が本校の児童にとって効果的であったと言える。	A	・専門の先生だと分かりやすい。 ・年度始めに比べると成果が出てきているがもう一段階レベルアップしてほしい。
					B	・設定された指標の水準が高いため、自己評価は低くなっているが、4月に比べ教科担任制の効果は確実にあがっていると思われる。
					C	・「未来社会を創造的に生きる力」は、今後世の中が急速に変革する時代において、柔軟に対応し、夢を実現する大きな手がかりになると思います。あまり形骸化させず、目標や計画をしっかりと立てて、実施していただきたいと考えます。
					D	・算数教室（少人数）や補習など、教科専門の先生に教えて頂き、子どもたちもわからない時に質問しやすかったり、一人一人までに目が届いている感じを受けました。でも、学力が上らないのは、予習不足ですかね。
お世個 お界別 たと目 な標 るな2 がる 人国 材際 を都 育成市 します	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心を持ち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	児童アンケート 「外国語や社会の授業を通し、日本のことだけでなく、世界のことに ついても興味をもつようになってきている」の4年生から6年生までの肯定的な回答の割合	3	「すごくもつようになった」「まあまあもつようになった」「特に興味はない」の3つの選択肢を設け、回答させた。4年生以上の84%の児童が「もつようになった」と肯定的な回答をしている。各教科の特性を生かしつつ、諸外国との文化や習慣などの違いや似たところなどをトピックスとして授業の中で取り上げていくことで、さらに肯定的な回答の割合を増やしていきたい。	A	・外国語文化を知ることの良いと思う。 ・複数の教科において、外国・世界の文化や習慣に興味をもつような働きがけができているように思われる。
					B	・国際交流は今後益々さかんとなりますが、そのベースは、実践的なコミュニケーションの場であります。その中で、お互いに尊重する心や協力していく活動を身につけていくことを期待いたします。又、当然のことですが、国語が正確にしっかりと身に付けていくことを忘れてはいけません。
					C	・自宅でも外国語の事を学んだ時は、嬉しそうに自慢気味に話してくれます。子どもたちは色々な事に興味があるので、とても刺激になり良いと思いました。
					D	
たる一 めの人 基別 礎目 となると る性 力と を能 育成力 しますを 発揮 すす	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	保護者アンケート 「本校で教員が指導した『糀谷小のきまり』を児童が理解している。」の肯定的な回答の割合	1	「とても思う」「思う」と回答した保護者の割合は60.1%であった。糀谷小のきまりの存在を児童は知ってはいるものの、児童が実践できていないからという理由で、「理解している」には賛成できないという思いが見えてくる。一人でも多くの児童に身に付けられるように保護者や地域と協力して児童の育成を図る。	A	・児童の豊かな心身が育成する。 ・保護者や地域にも問題があると思う。子どもたちにわかりやすく今一度、例を上げ説きかけることが大事かと。
					B	・保護者アンケートの生活面に関する他の質問項目においては、肯定的な回答の割合がより高いことから、目標に対する成果自体はあがっていると思われる。
					C	・保護者や地域の協力はもちろんのことですが、高学年の生徒からの交流や実践から身につけることが、大きいと思います。
					D	・「糀谷小のきまり」については、学期始めや終わり、保護者会などでも学校側はプリントや先生達からことも達に伝えて頂きいるのに守ることもが少ない。高学年、中学年に関しては、パトロールの人に言い訳してでも帰宅しない。でもこれは、学校側と言うよりも家庭でのルールを決めないでですね。
す学個 校別 力目 ・標 ・教 師4 力を を向 上さ せま	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	保護者アンケート 「お子さんは、学校での学習を楽しんでいる」の肯定的な回答の割合	2	「とても思う」「思う」と回答した保護者の割合は75.4%であった。学習を楽しんでいる様子が学校として保護者に伝えきれていないのではないかと考える。学校公開の様子だけでなく、家族間で交わす学校の話題で、楽しい学習の内容になるように授業における教師の発言や学習活動を今後も開発していく必要がある。	A	・学校が楽しく。 ・保護者が子どもたちの学校生活にもっと関心をもってほしい。いろいろ話しかければ、より状況がわかる気がする。
					B	・児童アンケートでの「学校が楽しい」の質問に対しては肯定的な回答の割合が非常に高いことから自己評価のコメント通りであり、妥当であると考える。
					C	・先生方、勤務のなか、いつもありがとうございます。既に十分お判りのことと思いますが、先生方の日々の活動がこれからの世の中を支える礎となります。その気概と心意気をお持ちいただき、今後ともご指導下さいますようよろしくお願いいたします。
					D	・学校は「好き」でも授業（勉強）は嫌い。とは言っている子が多いですが、授業公開などを見ていると楽しそうに授業を受けていると思いました。先生方も学年に合わせて授業を楽しく飽きさせない努力が伝わってきました。
たる自 めの分 学別 び目 をく 支し 援い しまき ますと 生き	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	保護者アンケート 「本校はサポートルームの指導や個に応じた支援について、担任や支援員を通じ、周知している。」の肯定的な回答の割合	2	「とても思う」「思う」と回答した保護者の割合は75.0%であった。学習集団の中で個別学習やグループ活動において、つまづきを発見した際には教師から保護者に適宜、伝えてきている。しかしながら、多忙な時期には、その細やかな連絡ができなくなる時がある。教師の仕事の効率化を図るとともに、保護者との連携が途切れることがないように業務の改善をしていく。	A	・生徒の学力に合わせて ・サポートルームや個別支援に関し、困難やつまづきのある児童以外の児童・保護者にも理解を得る必要がある。
					B	・常日頃より、お互いに尊重しあい、助け合っていく気運や活動をさらに醸成していただくことを期待いたします。
					C	・下の子が2年生の時にサポートルームにお世話になり、指導していただきました。つまづきをどう本人に頑張ってもらうかどうか支えてあげるかなど、テストを受けて分析して頂きとても良かったです。つまづいている子どもが多いので家庭でも努力しないです。
					D	
す安安柔 心全軟 な・で 教育目標 環創造 境的 をつな6 くり習 ま空間 と	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	保護者アンケート 「登校時、教員は校門そばに立ち、安全を守るとともに挨拶をしている。」の肯定的な回答の割合	1	「とても思う」「思う」と回答した保護者の割合は70.3%であった。本校では、登校時間に代表委員会の挨拶運動と、児童の見守り活動を毎朝行っている。このことについて広く周知していくことで数字の改善を図っていきたい。	A	・登下校時の安全、安心 ・活動自体は毎日行っているため、自己評価のコメント通り、そのことを周知していく必要があると思う。
					B	・生徒のICT習熟度は、大人の常識をはるかに超えており、目まぐるしいものがあります。その能力を正しい方向へ引き出してあげることは大切なことです。又、代表委員会の挨拶運動はすばらしいことで長く続けていただきたいと思います。
					C	・何度か代表委員の子が元気良く挨拶しているのを見かけました。朝は一日の始まりで、元気良く朝から挨拶してもらうと、とても気分が良いですね。先生方も朝から子どもたちの様子を見て頂きありがたいと思っています。
					D	
学地協学 校域働校 をつに別 くりコ・目 ますミ家 ・標 ・ニ庭 ・7 ・地 域の 核の とし連 携・	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	保護者アンケート 「本校は、地域やPTA、保護者の活動に協力的である。」の肯定的な回答の割合	3	「とても思う」「思う」と回答した保護者の割合は84.0%であった。令和7年度中にコミュニティ・スクール化を進めている本校では、地域とともに、可能な限り今まで以上の協働した動きを図っていききたいと考えている。常に高い数値を維持していききたい。	A	・地域行事には積極的に。 ・こどもの健全な成長には、地域全体での取組みが必要不可欠であることから、学校運営においてより地域が参画できる体制を引き続き整備していただきたい。
					B	・学校、家庭、地域の協働は全ての根幹をなすものであり、実質的に、更に、深まっていくことを望んでおります。
					C	・2年間PTAをさせて頂いている会長を通してPTA、学校、地域の事に触れさせて頂きました。保護者達の意見、学校の意見、地域の意見を統一する難しさを感じました。子どもたちの為でも、色々な意見があり、解決するには、時間が足りないとも思いました。コミュニティー化したらどうなるのか楽しみです。
					D	

※評価はA:自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点で評価する。 ※ご記入後、2月28日(金)までに学校までお願いします。